

伝える力×共感力で 惹きつける力を養うワークショップ

研究を支えるビジョン・原体験・哲学といった研究者の
内面的な思いや背景までも含めてご自身の研究を掘り下げ、
「バックキャスト思考」を用いて整理し、他者に共有します。
このプロセスを通じて、研究テーマへのより深い共感がどのように
生まれるかを体験し、人を巻き込み、共同研究や共創を促す
「惹きつける力」を育みます。

事前にご用意いただくものはありません！
ぜひ、お気軽にご参加ください！

バックキャスト思考とは、

望ましい未来の研究成果やそれによる社会変革の姿
(研究ゴール)を起点に、そこから逆算して現在の
研究課題や行動計画を設計する思考方法です。



ワークショップ概要

進行	女性研究者支援室 専属URA 篠谷
対象	大阪公立大学の准教授以下の女性専任教員
定員	12名(先着順)※1回あたり4名まで
日時	3月11(水)午後、12(木)午後、13(金)午後 ※詳細時間はTBD
実施場所	対面のみ 参加希望者が多いキャンパスにて実施 ※3回に分けて実施
内容	(ワーク形式) バックキャスト思考について バックキャストを用いたご自身の研究の整理・共有・共感共鳴の確認
用意するもの	なし
申込フォーム	https://forms.office.com/r/Pvm177wXya
問い合わせ先	女性研究者支援室



お申込み
二次元コード